

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 22

2009年10月発行

特定非営利活動法人地域生活サポートネットほうぷ5周年記念

出合い つながり 夢を語ろう *again!*



NPO法人地域生活サポートネットほうぷは、福祉・教育・医療の専門職が中心となって、2004年4月に設立しました。大阪市旭区とその近隣地域に密着した地域福祉活動を行なっています。



地域に暮らす方々の視点から、誰もが希望をもって暮らすことのできる地域社会、誰もが望まれた人として生きることのできる地域社会を目指して、あなたと共に考え行動します。



さまざまな団体や個人とつながり、福祉、医療、教育とのネットワークを創りながら、1人でも多くの方が、地域でより豊かな生活を営むことができるようサポートします。

「出合い つながり 夢を語ろう」をテーマに開催した設立集会から5年。あの日、語り合った夢に向けて、『ほうぷ』は多くの出合いを重ねながら、下記のような取り組みを進めてきました。

- ・ 障害をもつ子どもの余暇の充実と「自立」に向けた支援
- ・ 孤立をさせない「子育て」の支援
- ・ 不登校児支援や子育て支援の官民協働のネットワークづくり
- ・ セルフヘルプグループ（当事者会）の支援
- ・ 地域福祉計画（あさひあったかまちづくり）の作成実施にむけ区民と協働
- ・ 福祉教育の推進，ボランティアの養成
- ・ 福祉、教育、医療のつながりをつくる活動

活動に関わってくださった方々に、これから関わってみたいという方々に、感謝の思いを込めて、そして、これからの活動についてご意見をいただき、再び、夢を語り合うために5周年記念集会を開催しました。題して「出合い つながり 夢を語ろう *again!*」

出合い つながり 夢を語ろう *again!*

2009年9月19日(土)13:00~16:00

会場：大阪市立旭区民センター 大ホール

主催：NPO法人地域生活サポートネットほうぶ

後援：旭区役所・旭区社会福祉協議会・(財)旭区コミュニティ協会

助成：大阪ガス' 小さな灯' 運動助成金

参加者 97名

大人：39名、 子ども：11名、 スタッフ：8名、

ボランティア：39名(大学生20名、中高生20名、社会人6名)

大人も子どもも楽しめ、様々な方が出合い語り合える雰囲気作りを行い、主体的に参加できる集いにしました。区内新森小学校区のよさこい踊りの「チーム翔」にも参加・協力をいただき、身体を動かして楽しむことも盛り込みました。

当初、子ども達とボランティアによるサンドイッチづくりを企画していましたが、新型インフルエンザ対策のため、サンドイッチづくりを中止し、市販の個包装のお菓子を子ども達が盛り付け、大人をもてなすという内容に変更しました。

大学生・中高生ボランティアや専門職ボランティアの方々にも参加していただきました。ボランティアの皆さんは午前中から集って準備を手伝ってくれました。子ども達と遊んだり、参加者と交流したりし、終了後、活動を振り返り感想を共有しました。

◆ プログラム

13:00 開会のご挨拶 (感謝の言葉とお願い)

向井裕子(地域生活サポートネットほうぶ代表)

大阪ガスさんのご挨拶

「ほうぶの5年 わたしの5年 そして これから」

発表者：障害をもつ子どもとその兄弟、障害児の保護者、不登校児の親の会の方、ボランティア(学生と社会人)、旭区社会福祉協議会のボランティア担当者

進行：鳥海直美(地域生活サポートネットほうぶ副代表)・向井裕子(同時開催)おもてなしをしよう！(子ども達とボランティア)

14:00 交流会

スライドショー (5年間を振り返って)

よさこい踊り披露 「チーム翔」(新森地域中高生)

みんなで踊ろう！ うらじゃ音頭

14:30 「再び 夢を語り合おう」(ワークショップ)

～ 5年後のわたしへ 5年後のほうぶへ ～

進行：新崎国広(地域生活サポートネットほうぶ・大阪教育大学教員)(同時開催)みんなで遊ぼう！(子ども達とボランティア)

16:00 終了

◇「ほうぶの5年 わたしの5年 そして これから」

最初に、「ほうぶ」の活動に毎回のように参加してくれたHちゃんと弟さんのJくんが、レクリエーションイベントが楽しかったことを報告してくれました。歌も披露してくれました。毎日張り切って発表練習をしてきたのに、当日は緊張してしまい、話す文章を忘れてしまったとのこと。緊張の疲れが出たのか、他の方々の発表の時には眠ってしまいました。折り重なって眠る2人を皆さんが見守ってくださった様子がとても温かでした。

次に、Kくんのお母さんから発表していただきました。イベントの際、様々なお手伝いをしていただき、「ほうぶ」の活動を支えてきてくださいました。5年間続けてきた『音楽広場』で変わってきたお子さんの様子やこれからの夢などを語ってくださいました。『あたりまえの生活』を訴えなければならない障害児の暮らし。少しでも『あたりまえ』に近づけ、自立にむけた支援をしていくことが「ほうぶ」の課題でもあります。

サークル虹の方からは、不登校児のおかれている状況、セルフヘルプグループの役割や地域におけるネットワークの大切さについて話していただきました。当事者会はそれぞれの生活に精一杯の状況で、会を続けていく大変さを抱えています。『あさひ不登校ねっと』も官民協働の難しさやネットワークを機能させることの難しさを痛感しながら活動を続けています。

社会人ボランティアのIさんは、学生の頃に「ほうぶ」のボランティアに参加して、子どもと遊ぶ楽しさにはまり、イベントの保育ボランティアや個別活動のボランティアを続け、社会人になった今でも子どもと関わり続けているようすを話してくださいました。学生ボランティアのMさんは、自身の研究のために保護者のイベントに参加し、保護者の方々の声を聞いて多くを学んだと話してくださいました。おふたりは、『支援する』『支援される』という関係ではないボランティア活動のあり方を伝えてくださいました。

最後に、旭区社会福祉協議会のボランティア担当の職員さんからお話をいただきました。地域の中に『つながり』を作っていくことや住民のパワーを引き出していくことの大切さなどをわかりやすくお話してくださいました。



思い思いに、絵を描いたり、寝転がって遊んだり

◇ 交流会（スライドショー & よさこい踊り）

カノンをバックにスライドショーで5年間の活動を振り返りました。子ども達の成長のようすや、多くの方々が関わってくださったことを改めて感じました。〇〇さんが写ってる～、幼かった我が子が写ってる～と、みなさん、楽しんでくださいました。

毎週、新森小路小学校で「よさこい踊り」の稽古をしている中高生「チーム翔」の皆さんが、オリジナルの踊りを披露してくださいました。ステージではなく、同じフロアで踊っていただき、お祭りのような雰囲気を楽しむことができました。若くはじけるパワーに元気ももらいました。よさこい鑑賞の後は、「ほうぶ」のスタッフと「チーム翔」の皆さんに教えてもらいながら、参加者全員で「うらじゃ音頭」を踊りました。予想以上に難しかったのですが、みんなで踊れば怖くない(?)、あちこちで笑い声が上がり、楽しい時間になりました。「チーム翔」の皆さんは、子どもと遊ぶ保育ボランティアもしてくれました。「大学に入ったら、また、ボランティア活動に参加します!」と言って帰っていく高校生もいて、頼もしく思いました。



◇ 「再び 夢を語り合おう」ワークショップ

～ 5年後のわたしへ 5年後のほうぶへ ～

参加者が6グループに分かれ、それぞれの「幸せな時」のこと、「将来の夢」を発表しあい、意見交換をしました。発表の内容やグループで出た意見を一部ご紹介します。

● グループ1

- ① 地域で当たり前生きる
- ② 生きづらさ ⇒ ヘルパー不足の解消の必要性

● グループ2

- ① 外出すること、好きなものを見ること食べること
- ② 一人暮らし ⇒ 親からの独立、情報交換の必要性

● グループ3

- ① 共生 障害の有無にかかわらず
- ② 自立支援センターを作る

● グループ4

- ① バリアフリーのまちづくりへ
- ② 「自立」ってなに? ⇒ 一人暮らし、施設をなくす、収入面

● グループ5

- ① 親がホッとできる時間を
- ② 情報交換、情報共有の必要性
- ③ サークルやセルフヘルプグループを作り、それを継続させていく

● グループ6

- ① 行きたい学校に行けるように
- ② 学校以外の居場所づくり
- ③ 今までの友達と一緒にいられるように

○ 幸せな時・幸せなこと（抜粋）

子ども達と家でゴロゴロしている時、お酒を飲むとき、好きなものを食べる時、ライブやコンサートに行くこと、休日に孫と遊ぶこと、合唱でハーモニーが重なった時、金曜日の学校の帰り、ひとり暮らしをして自分で決めて好きなことができること、夜のひとりの時間、旅行、庭に見つけたバラの花 など



○ 将来の夢（抜粋）

いろんな人と関わって楽しく人生を歩んでいきたい、バンドを作って活動したい、車椅子でバレエを踊りたい、行きたい学校で学べるように、ひとり暮らしがしたい、今やっている研究が周りの役に立てれば、バリアフリーの街を作るような仕事がしたい、施設に入所している仲間を外に出してあげたい、あたりまえの生活がしたい、福祉のプロになりたい など



○ ほうぶへの期待（抜粋）

- ・ 情報の共有、情報発信の工夫・提案
- ・ 行事の定例化、自助グループやサークルの成長と地域の中の居場所作りを
- ・ ほうぶー自立生活センターー作業所など つながって何か面白いことを
- ・ 自助グループー地域のネットワークーほうぶ 活動の継続を
- ・ 幼少さんとのネットワーク作りを
- ・ 進学⇒就職 自立に向けて←今までの地域のつながりや友人関係の継続性



たくさんのご意見をありがとうございました！

<参加者の感想から>

● ほうぷへのメッセージ

- ・ 5周年おめでとうございます。石も上にも3年といいますから、5年(5才)ってステキ！これからも地域に根ざした地域の方から愛されるほうぷでいてください。
- ・ いろんなつながりで多くの人が集い支え合えるほうぷはすばらしい場だと思います。今後も継続できることを祈っています。
- ・ 次に続く活動をして会員を増やしてください。人のつながりをつくって欲しい。
- ・ ほうぷのイベントは初参加でしたが、いろんな立場の人が無理なく楽しみながらつながっているパワーに感動しました。人が人として生きやすいホッとできる地域を作るために、これからももっと輪を広げて行って欲しいと思います。
- ・ 5周年おめでとうございます。スタッフの皆さん他、当事者のいきいきとした姿が印象的でした。これからもご健闘をお祈りします。
- ・ ほうぷさん、設立5周年おめでとうございます。これからも悩み、迷いながら、一緒にいろんな形で活動をしていくことができればと思います。これからもよろしくお願ひいたします。
- ・ 続けることはすごくパワーが必要だと思いますが、なが〜く続けてくださいね。よろしくお願ひします。
- ・ たくさんの方のかかわりの中で、ほうぷの発展があったこと。スタッフの皆さんが温かい笑顔でいつも迎えてくださるので、いつも帰るときには笑顔で帰ることができます。ありがとうございました。
- ・ 着実な歩みで地域に根ざして活動されてこれ、5年間が経ったこと、おめでとうございます。これからもがんばって続けてください。

● 5周年記念行事の感想

○ 「ほうぷの5年 わたしの5年 そして これから」(発表)

- ・ 障害当事者、学生さん、保護者など、経験に根ざした話がとてもパワフルで面白かったです。
- ・ 今までの歩みや活動内容を知ることができてよかったです。
- ・ 振り返り、今後について考えるという機会は、参加された一人ひとりの方にとって、貴重な時間だったのではないかと思います。これからの5年、夢を語ることもとても貴重な時間だと思います。
- ・ 内容が盛りだくさんで楽しかったです。

○ 交流会(スライドショー、よさこい踊り)

- ・ 懐かしい顔、すてきな笑顔、BGMも良かったです。
- ・ 写真、懐かしかったです。
- ・ 5年の間の行事で、子どももスライドショーに出てきましたが、懐かしく、小さい時でかわいかったな〜と思いました。
- ・ スライドショーは良かったが、踊りは難しくついていけませんでした。
- ・ 皆で一緒に踊って楽しかったです。写真では、子ども達の笑顔が印象的でした。

- ・踊りはみんなで楽しむことができよかったです。ちょっと日頃の運動不足を感じました。

○「再び 夢を語り合おう」ワークショップ ～5年後のわたしへ 5年後のほうぷへ～

- ・当事者の方々、支援者の方々、親としてなど、違う立場の意見も聞けてよかったです、時間があつという間に過ぎた。
- ・グループの人といろいろ話ことができました。もうちょっと時間があっても良かった。
- ・いろいろな意見を聞くことができた。気づきもあった。
- ・ほうぷに期待することについて話し合いがしたかった。
- ・いろんな立場・世代の思いが聞けて、自分も普段感じていることを形にできてよかったです。ただ、グループ意見交換では、強引にわかりやすい結論にもっていったようなところもあり、話が浅くなってしまったのでは？
- ・様々な立場からいろんなお話を聞くことができ、考えさせられることがたくさんありました。貴重な意見を聞かせていただきました。
- ・息子に近い18歳の男子の思いが聞けて参考になりました。

○ その他

- ・今日の集会を通して改めてほうぷが地域とつながっている団体だなあと思いました。これからもどんな広がりができるか楽しみです。
- ・子どもが親と同室(同じ空間)だったため、ボランティアにすぐには溶け込まなかったのですが、2時間が過ぎると親よりボランティアさんの方と楽しく遊んでいる姿が見れて良かったです。また、料理作りのイベントを楽しみにしています。今回は、息子も楽しみにしていたので、残念でした。
- ・会場がとても温かい雰囲気、私自身楽しませていただきました。
- ・ほうぷにボランティアで参加してみたい。
- ・行事の定例化をめざしてコミュニケーションをはかれる場を作ってください。
- ・ほうぷの良さが前面に出ていましたが、悩んでいる部分、困っている部分など、暗い面をもっと聞いてみたかったです。
- ・このような交流会は大賛成です。
- ・楽しかったです。また、新しい人と知り合うことができました。

<ボランティアの感想から>

- ・最初は戸惑ったが、自分で待つのではなく、自分から積極的に動くことが大切だと学んだ。楽しく遊ぶことができ良かった。
- ・優しく受け容れてくれたように感じ、自然体で臨むことができ心地よかった。
- ・初めはお互い緊張をされていて、何をすれば良いのかわからなかったが、時間が経つにつれて馴染めたと思う。子どもの行動(言動)一つひとつに意味があるのだろうなと思いました。初めてのボランティアで戸惑っていましたが、自分に得るものはたくさんあるのだと感ずることができて良かった。
- ・いろいろな地域のネットワークというものが、活動を通して見ることができたのが良かった。

- ・楽しかった。コミュニケーションをとることができるだけでも相手を知ることができたと思ってうれしかった。
- ・また、こういう活動がしたいです。
- ・途中、「あそぼ！」と声をかけてきてくれたので、楽しく遊ぶことができました。コミュニケーションをとる難しさも知った。
- ・雰囲気は温かく、優しく受け容れてもらえたと感じた。
- ・本日は設営としてボランティアに参加させていただいたのですが、テキパキ動くことができず、反省する点が多かったです。でも、5周年記念にはとても楽しみながら参加することができて良かったです。次回から活動に参加する時は、もっと自分から行動できるようにがんばりたいと思います。
- ・話をしたり、意志表示をしてくれない子どもにはどういう対応をすればよいのかわからなかったので考えさせられました。
- ・障害者の方に「福祉の現場で働いて欲しい、ありがとう」と言われた。
- ・Aちゃんは、障害があるのかな？と思った。
- ・同じ中学だった子と遊べて、楽しかった。
- ・大人数で楽しくソーラン踊れて良かったです。
- ・小さい子ども達と一緒に、大人の人も混じって「うらじゃ」ができて、とても楽しかったです。
- ・このような機会がないので、いい経験になりました。とても楽しかった。
- ・ワークショップでは、学校の先生なども来ていただけたら良かったと思った。
- ・幸せなことや将来の夢が普段あまり考えていなかったのですが、みんな幸せなことや夢に違いがあって、考えればいくらでも話せそうな感じでした。
- ・久しぶりに将来のことを考えるきっかけになりました。

<社会人ボランティア・スタッフの感想から>

- ・以前にかかわった子ども達が成長していてビックリした。広いホールで遊びが気になったが、騒々しい中でもじっくり遊べるようになったと思う。ボランティアもゆったりかかわれた感じ。
- ・ボランティアの学生さんが積極的に、何をしたらいいですか？と聞いてきてくれた。
- ・いろんな出会いがあった。22歳になって、24時間介助を受けながら自立して生活している人にも会った。
- ・自分の学生の頃を思い出した。学生さんも20年後に思い出すと思う。今の気持ちを大切にしたい。
- ・スタッフは専門職。ボランティアで活動することの楽しさを感じる。ボランティアは自分で活動を創る楽しさがある。そして、自分達は、多くの学生さんから学んで、活動を続けていくことができた。



旭区情報

「あさひ あったか きち」再開

今年の2月3月と今市商店街に開店をした「あさひ あったか きち」が再びオープンしました。「あさひ あったか きち」は、「あさひあったかまちづくり計画」(旭区アクションプラン)の1事業として、地域の方々が交流し情報の交換や相談ができる基地を作ろうと、昨年度、大阪市のフロンティア事業として試行的に開店をしました。昨年度、ほうぶでは、「あさひ あったか きち」の企画や開催準備と、開催中のイベントや店番ボランティアのコーディネートを行ないました。今年度は、NPO 法人フェリスモンテさんの主催で、開店をします。お店も改装されてきれいになりました。

10月2日にオープニングイベントが開催されました。旭区長、あさひあったかまちづくり計画推進委員会副会長のご挨拶のあと、ムーランルージュさんの魔法のようなバルーンアート、徳井由美子さんの美しいギター演奏と歌声に、集ってくださった方々や通りがかりの方々が楽しい時間を過ごされました。

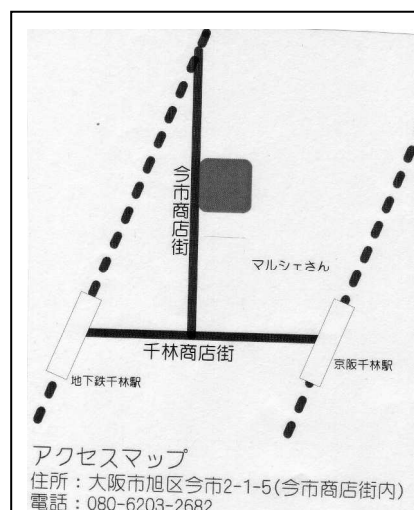
みなさん、今市商店街、千林商店街へおいでの時には、どうぞお立ち寄りください。情報の交換・発信や、イベントの開催もできますので、ぜひ、ご利用ください。

どなたでも いつでも お気軽に 休憩していただける場所です！

開店日時：10時半から16時半 木曜日定休

- ♪ コーヒー・お茶1杯100円
(お変わり自由)
- ♪ 飲食物の持ち込みOK
- ♪ トイレご使用ください。
- ♪ 授乳・おむつ交換できます。
- ♪ パン販売(ワークセンター飛行船)
月・火・水・金 11:00~14:30
- ♪ クッキー販売(あゆみ工房)
金 11:00~14:30
- ♪ パン・シフォンケーキ販売(あかずきんちゃん
チビッコ) 第1・3日曜日
- ♪ さおり織り・福祉用品など、期間限定でさまざまな展示や販売を行っています。
- ♪ 健康チェック・木工教室などを定期的で開催しています。

(都合により、販売などの日時が変更になる場合があります。ご了承ください)



ようやく秋らしくなってきました。運動会や文化祭、子ども達の楽しみな、あるいは、苦痛な(?)行事が続きます。保護者や教師のための行事ではなく、主人公は子ども。どの子も楽しめる場面を、輝ける場面をと願っています。本番でうまくいかなかったとしても、それまでの練習や準備の日々、そして、当日も、子どもなりにがんばっていますよね。「よくがんばったね!」と、たくさん誉めてあげてくださいね。

